

# 将来を見据えたICT研究開発③

## ○ ユニバーサルコミュニケーション技術（自動音声翻訳）

### ■ これまでの開発成果



自動音声翻訳機

- ・リアルタイム化
- ・多言語化
- ・精度の向上

携帯端末を使った日英中の3カ国語間の翻訳(旅行会話レベル)を世界で初めて実現。

### ■ 将来(5~10年後)の利用イメージ

～様々な場面で自然な多言語間翻訳が可能に～

#### コンテンツ自動翻訳ソフト



日本のビデオ、アニメを多言語で海外発信。

#### 高度な翻訳・学習ソフト



我が国の強みであるゲーム産業と連携したソフト開発。

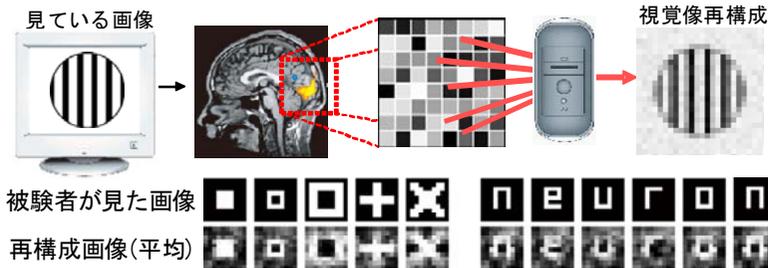
#### 翻訳メガネ



視野に入る文字を認識して自動翻訳。

## ○ 先端系技術（脳情報インタフェース）

### ■ これまでの開発成果



- ・高速処理化
- ・高解像度化

被験者が見ている画像を脳情報から再構成することに世界で初めて成功。

### ■ 将来(10~15年後)の利用イメージ

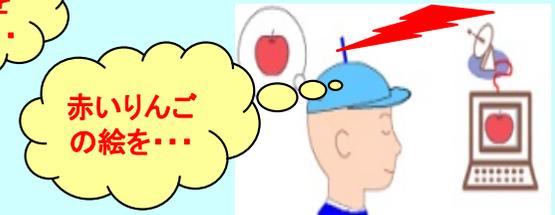
～頭に思い描いた動作の実行や文字の表示が可能に～

#### 脳情報で制御するロボットや パワースーツの実現



脳情報を基に、高齢者等の日常動作をサポート。

#### 情報通信への利用



脳情報を基に、パソコン等へ図形、文章等の情報を直接入力。